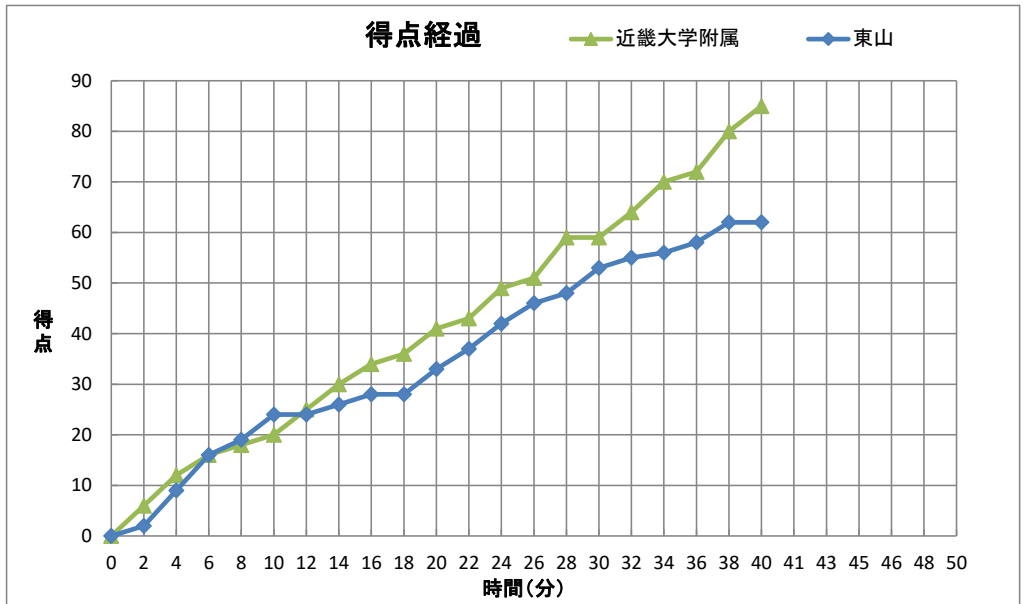




令和3年度  
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		6月27日				11:00 開始															
準決勝						C															
◎ 近畿大学附属 85		<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>9</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>9</td></tr> </table>				20	1st	24	21	2nd	9	18	3rd	20	26	4th	9	62		東山	
20	1st	24																			
21	2nd	9																			
18	3rd	20																			
26	4th	9																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	竹宮 聖太郎	8	2	1	0	0	* 4	西部 秀馬	30	5	6	3	1								
* 5	楊 裕貴	21	1	8	2	2	* 5	堀 陽稀	10	0	4	2	2								
6	池澤 晴太	1	0	0	1	3	6	木下 楽雲	-	-	-	-	-								
* 7	東 拓志	8	0	4	0	2	7	今野 凌	0	0	0	0	1								
* 8	高畑 慶次郎	19	2	4	5	3	8	堀田 尚秀	0	0	0	0	0								
9	中島 秀太	0	0	0	0	0	* 9	竹内 龍ノ介	0	0	0	0	1								
10	田中 優大	-	-	-	-	-	* 10	角野 寛伍	4	0	2	0	0								
11	北野 諒	-	-	-	-	-	* 11	伊計 叶貴	7	1	2	0	2								
* 12	野崎 稜太	2	0	1	0	0	12	佐藤 友	2	0	1	0	3								
13	西岡 優太	0	0	0	0	0	13	清水 拳	0	0	0	0	3								
14	山下 瑞季	-	-	-	-	-	14	曾我部 嵐史	-	-	-	-	-								
15	中西 悠	-	-	-	-	-	15	矢倉 啓輔	6	0	3	0	3								
16	田中 陸翔	0	0	0	0	1	16	小泉 広翔	0	0	0	0	0								
17	田中 偉航	13	1	3	4	0	17	針多 慶次朗	3	1	0	0	1								
18	保田 空海	13	2	3	1	0	18	滝本 純也	-	-	-	-	-								
コーチ	大森 健史					0	コーチ	大澤 徹也					0								
Aコーチ	山本 悠真						Aコーチ	脇阪 凧人													
合計		85	8	24	13	11	合計		62	7	18	5	17								
主審: 早崎 康祐 副審: 加藤 毅 副審: 大倉 哲也																					



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:34	:	:	:	:	:
TeamB	13:52	:	:	:	:	:

〔戦評〕

大阪府予選優勝の近大付属と京都府予選2位の東山の対戦。

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンで試合開始。序盤、近大付属は#5楊のゴール下で得点を重ねていく。対する東山は#10角野の連続得点などで対抗する。近大付属は全員交代からゾーンプレスで流れを変えようとするも、東山#4西部のバスケットカウントで落ち着いて対応する。その後近大付属はメンバーを戻し#5楊で得点を重ねると東山は#11伊計や#4西部の3Pなどで得点を重ねていく。24対20の東山リードで第1Q終了。

第2Q、東山は#13清水を投入しハイスピードなゲーム展開に持ち込もうとするもなかなか得点が決まらない。近大付属は落ち着いて得点を重ね、開始3分で逆転に成功する。その後#18保田の3Pなどでリードを6点としたところで東山がタイムアウト。その後、東山は#5堀のドライブで得点をし、食らいついていく。高確率でアウトサイドシュートを沈めた近大付属が41対33の8点リードで後半へ。

第3Q、東山#11伊計のスティールからの速攻でスタートし、徐々に点差を縮める。近大付属も#8高畑、#5楊の3Pで差を縮めさせない。近大付属#8高畑がバスケットカウントを決めると、東山#5堀もドライブで得点し、一進一退の攻防が続く。最後、東山#4西部のブザービーターで59対53と近大付属6点リードで最終Qへ。

第4Q、近大付属は落ち着いて#5楊を中心にバランスよく得点を重ね開始5分でリードを16点に広げる。東山も#4西部を中心に攻めるが近大付属の固い守りを崩しきれない。終盤、東山の激しいディフェンスをうまくかわし得点を重ねた近大付属が85対62で勝利し決勝に駒を進めた。